

## 【施策01】地域コミュニティ

～みんなの支えあいで地域が元気なまち～

- ◆展開方向01: 多様な主体が参加し、連携できる地域分権型社会にふさわしい地方自治のルールづくりに取り組みます。

※当展開方向に属する事務事業なし

- ◆展開方向02: 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進します。

1	中央支所管理運営事業費	35
2	小田支所管理運営事業費	37
3	大庄支所管理運営事業費	39
4	立花支所管理運営事業費	41
5	武庫支所管理運営事業費	43
6	園田支所管理運営事業費	45
7	地域資源活用型まちづくり推進事業費	47
8	コミュニティ活動推進事業費	49
9	市民運動推進事業費	51
10	10万人わがまちクリーン運動事業費	53
11	あまがさきチャレンジまちづくり事業費	55
12	あまがさき市民まつり事業補助金	57
13	福祉会館等維持管理事業費	59
14	尼崎市社会福祉協議会補助金	61
15	集会所補助金	63
16	施設整備事業費	65
17	園田東会館管理運営事業費	66
18	戸ノ内施設関係事業費	67
19	中央地区会館指定管理者管理運営事業費	68
20	小田地区会館指定管理者管理運営事業費	69
21	大庄地区会館指定管理者管理運営事業費	70
22	立花地区会館指定管理者管理運営事業費	71
23	武庫地区会館指定管理者管理運営事業費	72
24	園田地区会館指定管理者管理運営事業費	73
25	施設整備事業費	74

- ◆展開方向03: 市民の提案機会の拡大、公聴機能の充実やシチズンシップ教育など、市政参画をいっそう進めるしくみづくりに取り組みます。

1	車座集会事業費	75
2	協働のまちづくりの基本方向推進事業費	77
3	(仮称)まち大学あまがさき検討事業費	79
4	コミュニティ連絡板維持管理事業費	80

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	中央支所管理運営事業費	IC1A	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市役所支所設置条例		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	平成13年		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	75 支所及びサービスセンター費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	中央地域振興センター
所属長名	田村 良二郎		

①事業概要

事業実施趣旨	地域における協働のまちづくり及びコミュニティの創造の拠点並びに保健及び福祉に関するサービスその他行政サービスの提供の場として設置している。施設の老朽化に伴い、施設の改修等が必要である。
対象(誰を・何を)	中央支所
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域のコミュニティ及び市民サービスの拠点として、施設を利用者に快適に供するとともに、効果的な運営を図る。
事業概要	中央支所の管理運営
実施内容	<p>1 管理形態 直営管理</p> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竣工年 昭和12年(平成17年改修)</li> <li>・ 敷地面積 2,463.69㎡</li> <li>・ 建築面積 1,253㎡</li> <li>・ 延床面積 3,593.65㎡</li> <li>・ 構造等 鉄筋コンクリート造3階建て</li> <li>・ 支所内の各所属 中央地域振興センター、社会福祉協議会中央支部、中央地区補導連絡所、阪神尼崎サービスセンター、中央地域福祉担当、中央地域保健担当、環境監視センター</li> </ul> <p>3 事業内容 施設全体の適正かつ効率的な管理・運営</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	7,872	7,951	13,720	
旅費	9	10	32	職員旅費
需用費	1,955	2,032	3,594	光熱水費、修繕料等
役員費	326	337	898	電話料
委託料	5,582	5,365	8,988	総合管理、清掃委託等
使用料及び賃借料	0	207	208	公用車リース料
人件費 B	7,535	10,298	9,431	
職員人工数	1.13	1.30	1.19	
職員人件費	7,535	10,298	9,431	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	15,407	18,249	23,151	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	46	47	46	庁舎電話料等実費弁償金
一般財源	15,361	18,202	23,105	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った		適正かつ効率的な施設の維持管理を行うことにより、地域活動の拠点施設として、地域住民や活動グループの交流機会の拡充等に寄与した。								

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、市民に利用されており、必要不可欠な施設である。一方で、施設の老朽化が原因で市民に不便を強いているところがあることから、施設管理者として安全かつ安心して利用してもらえるよう対応していかなければならない。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民に対する基本的なサービスを提供する庁舎であり受益者負担を求める施設ではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	—
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無	施設維持管理において、専門業者に委ねないといけない部分や委ねたほうが効率的な部分は既に委託している。行政としての協働のまちづくりの拠点であり、全面的に民間に委ねるべきものではない。																									
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状					●	将来像					○	内容	施設の維持管理業務は行政の責任で行うものであるが、コミュニティルームの運営については、登録団体等が主体的に関わることが望ましい。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																										
	A	B	C	D	E																						
現状					●																						
将来像					○																						

⑧総合評価

総合評価	維持	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供を行う施設として現在も必要性が高く、地域住民のための施設として有効に機能しており、今後とも継続して適切な運営管理に努める。
------	----	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、使いやすく快適な施設環境を引き続き継続していくとともに、多様な施設利用者に対応することができるよう、施設内容の充実等に向けて取り組んでいく。
--------	--

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	小田支所管理運営事業費	IC1K	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市役所支所設置条例		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和41年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	75 支所及びサービスセンター費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	小田地域振興センター
所属長名	高田 繁樹		

① 事業概要

事業実施趣旨	地域における協働のまちづくり及びコミュニティの創造の拠点並びに保健及び福祉に関するサービスその他行政サービスの提供の場として設置している。施設の老朽化に伴い、施設の改修等が必要である。
対象(誰を・何を)	小田支所
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域のコミュニティ及び市民サービスの拠点として、施設を利用者に快適に供するとともに、効果的な運営を図る。
事業概要	小田支所の管理運営
実施内容	<p>1 管理形態 直営管理</p> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竣工年 昭和41年</li> <li>敷地面積 2,474.26㎡</li> <li>延床面積 1,631.11㎡</li> <li>構造等 鉄筋コンクリート造3階建て</li> <li>支所内の各所属</li> </ul> <p>小田地域振興センター、社会福祉協議会小田支部、小田地区補導連絡所、JR尼崎サービスセンター、小田地域福祉担当、小田地域保健担当、コミュニティルーム</p> <p>3 事業内容 施設全体の適正かつ効率的な管理・運営</p>

② 事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	8,132	8,188	10,798	
旅費	1	3	3	職員旅費
需用費	4,983	4,925	5,411	光熱水費、修繕料等
役員費	414	398	502	電話料
委託料	2,734	2,862	3,882	清掃、警備委託等
備品購入費	0	0	1,000	公用車購入
人件費 B	3,376	2,282	1,505	
職員人工数	0.33	0.32	0.19	
職員人件費	2,417	2,282	1,505	
嘱託等人件費	959	0	0	
合計 C (A+B)	11,508	10,470	12,303	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	32	36	32	自動販売機等電気料実費弁償
一般財源	11,476	10,434	12,271	

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った		適正かつ効率的な施設の維持管理を行うことにより、地域活動の拠点施設として、地域住民や活動グループの交流機会の拡充等に寄与した。								

④ 必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として市民に利用されており、必要不可欠な施設である。 一方で、施設の老朽化が原因で市民に不便を強いていることがあることから、施設管理者として安全かつ安心して利用してもらえるよう対応していかなければならない。
---------	--

⑤ 受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民に対する基本的なサービスを提供する庁舎であり受益者負担を求める施設ではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥ 他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	—
---------------	---

⑦ 担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無	施設の維持管理において、専門業者に委ねないといけない部分や委ねたほうが効率的な部分は既に委託している。行政としての協働のまちづくりの拠点であり、全面的に民間に委ねるべきものではない。																									
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>			市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状					●	将来像					○	内容
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																										
	A	B	C	D	E																						
現状					●																						
将来像					○																						

⑧ 総合評価

総合評価	維持	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供を行う施設として現在も必要性が高く、地域住民のための施設として有効に機能しており、今後とも継続して適切な運営管理に努める。
------	----	---

⑨ 改善の方向性

今後の改善策	施設が老朽化しており、公共施設の再配置の視点を踏まえ、建替えを含めた検討が必要であるが、地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、使いやすく快適な施設環境を引続き継続していくとともに、多様な施設利用者に対応することができるよう、施設内容の充実等に向けて取り組んでいく。
--------	---

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	大庄支所管理運営事業費	1C21	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市役所支所設置条例		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和40年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	75 支所及びサービスセンター費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	大庄地域振興センター
所属長名	西村 庄司		

①事業概要

事業実施趣旨	地域における協働のまちづくり及びコミュニティの創造の拠点並びに保健及び福祉に関するサービスその他行政サービスの提供の場として設置している。施設の老朽化に伴い、施設の修繕などが必要である。
対象(誰を・何を)	大庄支所
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域のコミュニティ及び市民サービスの拠点として。施設を利用者に快適に供するとともに、効果的な運営を図る。
事業概要	大庄支所の管理運営
実施内容	<p>1 管理形態 直営管理</p> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工年 昭和40年</li> <li>・敷地面積 1,525.86㎡</li> <li>・延床面積 896.67㎡</li> <li>・構造等 鉄筋コンクリート造2階建て</li> </ul> <p>・支所内の各所属</p> <p>大庄地域振興センター、社会福祉協議会大庄支部、大庄地区補導連絡所、証明コーナー 大庄地域福祉担当、大庄地域保健担当</p> <p>3 事業内容 施設全体の適正かつ効率的な管理・運営</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	5,204	5,703	7,196	
旅費	2	0	3	職員旅費
需用費	2,497	2,883	3,444	光熱水費、修繕料等
役員費	239	244	300	電話料
委託料	2,452	2,562	3,434	清掃、空調、警備委託等
その他	14	14	15	NHK受信料等
人件費 B	2,021	2,242	2,367	
職員人工数	0.28	0.31	0.33	
職員人件費	1,874	2,214	2,219	
嘱託等人件費	147	28	148	
合計 C(A+B)	7,225	7,945	9,563	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	186	225	186	自販機電気料実費弁償金等
一般財源	7,039	7,720	9,377	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った		適正かつ効率的な施設の維持管理を行うことにより、地域活動の拠点施設として、地域住民や活動グループの交流機会の拡充等に寄与した。								

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として市民に利用されており、必要不可欠な施設である。一方で、施設の老朽化が原因で市民に不便をにかけていることがあるため、施設管理者として安全かつ安心して利用してもらえるよう、対応していかなければならない。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民に対する基本的なサービスを提供する庁舎であり受益者負担を求める施設ではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	—
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無	施設維持管理において、専門業者に委ねないといけない部分や委ねたほうがより効率的な部分は既に委託している。行政としての協働のまちづくりの拠点であり、全面的に民間に委ねるべきものではない。																								
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																									
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状					●	将来像					○	施設の維持管理業務は行政の責任で行うものであるが、コミュニティルームの運営は、登録グループが主体的に関わることが必要である。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																									
	A	B	C	D	E																					
現状					●																					
将来像					○																					

⑧総合評価

総合評価	維持	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供を行う施設として現在も必要性が高く、地域住民のための施設として有効に機能しており、今後とも継続して適切な管理運営に努める。
------	----	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	施設が老朽化しており、公共施設の再配置の視点を踏まえ、利用者の安全及び安心を確保しながら、地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、使いやすく快適な施設環境を引続き継続していくとともに、多様な施設利用者に対応することができるよう、施設内容の充実等に向けて取り組んでいく。
--------	--

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	立花支所管理運営事業費	1C2A	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市役所支所設置条例		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和42年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	75 支所及びサービスセンター費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	立花地域振興センター
所属長名	南 敏彦		

①事業概要

事業実施趣旨	地域における協働のまちづくり及びコミュニティの創造の拠点並びに保健及び福祉に関するサービスその他行政サービスの提供の場として設置している。施設の老朽化に伴い、施設の修繕などが必要である。
対象(誰を・何を)	立花支所
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域コミュニティ及び市民サービスの拠点として、施設利用者に快適に供するとともに、効果的な運営を図る。
事業概要	立花支所の管理運営
実施内容	<p>1 管理形態 直営管理</p> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工年 昭和42年</li> <li>・敷地面積 1,780.92㎡</li> <li>・床面積 1,234.65㎡</li> <li>・構造等 鉄筋コンクリート造3階建て</li> </ul> <p>・支所構内の各所属</p> <p>立花地域振興センター、社会福祉協議会立花支部、立花地区補導連絡所、証明コーナー、立花地域福祉担当、立花地域保健担当</p> <p>3 事業内容 施設全体の適正かつ効率的な管理・運営</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	6,928	6,905	8,519	
旅費	4	0	7	職員旅費
需用費	4,277	4,104	4,594	光熱水費、修繕料
役員費	362	380	373	電話、貯水槽清掃手数料
委託料	2,285	2,421	3,545	清掃、空調、警備委託料
人件費 B	1,236	1,728	1,733	
職員人工数	0.14	0.25	0.25	
職員人件費	1,141	1,728	1,733	
嘱託等人件費	95	0	0	
合計 C(A+B)	8,164	8,633	10,252	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	116	114	115	自販機電気料実費弁償金等
一般財源	8,048	8,519	10,137	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った		適正かつ効率的な施設の維持管理を行うことにより、地域活動の拠点施設として、地域住民や活動グループの交流機会の拡充等に寄与した。								

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、市民に利用されており、必要不可欠な施設である。一方で、施設の老朽化が原因で市民に不便をかけていることがあるため、施設管理者として安全かつ安心して利用してもらえるよう、対応していかなければならない。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民に対する基本的なサービスを提供する庁舎であり、受益者負担を求める施設ではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	—
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無	施設の維持管理業務においては業務委託を行っているが、協働のまちづくりの拠点として全面的に民間に委ねるべきものではない。																											
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																												
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> <td rowspan="2">内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域					内容		A	B	C	D	E	現状						●	将来像						○	施設の管理は行政の責任で行うものである。なお、コミュニティールームについては、たちばなNPOプラザにより、効果的に自主運営されている。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域					内容																							
	A	B	C	D	E																								
現状						●																							
将来像						○																							

⑧総合評価

総合評価	維持	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供を行う施設として現在も必要性が高く、地域住民のための施設として有効に機能しており、今後とも継続して適切な管理運営に努める。
------	----	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	施設が老朽化しており、公共施設の再配置の視点を踏まえ、建替えを含めた検討が必要であるが、地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、使いやすく快適な施設環境を引続き継続していくとともに、多様な施設利用者に対応できるよう、施設内容の充実等に向けて取り組んでいく。
--------	--

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	武庫支所管理運営事業費	1C2K	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市役所支所設置条例		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和40年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	75 支所及びサービスセンター費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	武庫地域振興センター
所属長名	檜垣 龍樹		

①事業概要

事業実施趣旨	地域における協働のまちづくり及びコミュニティの創造の拠点並びに保健及び福祉に関するサービスその他行政サービスの提供の場として設置している。
対象(誰を・何を)	武庫支所
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域のコミュニティ及び市民サービスの拠点として、施設を利用者に快適に供するとともに、効果的な運営を図る。
事業概要	武庫支所の管理運営事業
実施内容	<p>1 管理形態 直営管理</p> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工 昭和40年</li> <li>・敷地面積 1,182.54㎡</li> <li>・延床面積 1,087.03㎡</li> <li>・支所内の各所属</li> </ul> <p>武庫地域振興センター、社会福祉協議会武庫支部、武庫地区補導連絡所、武庫証明コーナー、武庫地域福祉担当、武庫地域保健担当</p> <p>3 事業内容 施設全体の適正かつ効率的な管理・運営</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	6,372	7,054	8,201	
旅費	9	0	8	職員旅費
需用費	3,800	4,391	4,612	光熱水費、修繕料、消耗品費、燃料費等
役務費	395	405	467	電話料、貯水槽清掃等手数料
委託料	2,168	2,258	3,114	清掃、空調、警備委託等
人件費 B	2,336	2,577	2,876	
職員人工数	0.37	0.42	0.41	
職員人件費	2,336	2,577	2,876	
嘱託等人件費				
合計 C (A+B)	8,708	9,631	11,077	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	5	8	5	テレビモニター電気料実費弁償金
一般財源	8,703	9,623	11,072	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った		適正かつ効率的な施設の維持管理を行うことにより、地域活動の拠点施設として、地域住民や活動グループの交流機会の拡充等に寄与した。								

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として市民に利用されており、必要不可欠な施設である。 一方で、施設の老朽化が原因で市民に不便を強いていることがあることから、施設管理者として安全かつ安心して利用してもらえるよう対応していかなければならない。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民に対する基本的なサービスを提供する庁舎であり、受益者負担を求める施設ではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	—
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無	施設維持管理において、専門業者に委ねないといけない部分や委ねたほうが効率的な部分は既に委託している。																									
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状					●	将来像					○	内容	施設の維持管理業務は行政の責任で行うものであるが、コミュニティルームの運営については、登録団体等が主体的に関わることが望ましい。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																										
	A	B	C	D	E																						
現状					●																						
将来像					○																						

⑧総合評価

総合評価	<p><b>維持</b></p> <p>地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供を行う施設として現在も必要性が高く、地域住民のための施設として有効に機能しており、今後とも継続して適切な管理運営に努める。 老朽化のため、平成29年4月に向け地区会館との合築建替えを行う。</p>
------	--

⑨改善の方向性

今後の改善策	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、使いやすく快適な施設環境を引き続き継続していく。 また、施設が老朽化しており、公共施設の再配置の視点を踏まえ、平成29年4月に向け地区会館との合築建替えを行う。
--------	---

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	園田支所管理運営事業費	1C31	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市役所支所設置条例		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和40年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	75 支所及びサービスセンター費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	園田地域振興センター
所属長名	新家 謙和		

①事業概要

事業実施趣旨	地域における協働のまちづくり及びコミュニティの創造の拠点並びに保健及び福祉に関するサービスその他行政サービスの提供の場として設置している。施設の老朽化に伴う改修等が必要である。
対象(誰を・何を)	園田支所
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域のコミュニティ及び市民サービスの拠点として、施設を利用者に快適に供するとともに、効果的な運営を図る。
事業概要	園田支所の管理運営
実施内容	<p>1 管理形態 直営管理</p> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工年 昭和40年</li> <li>・敷地面積 1,646.64㎡</li> <li>・延床面積 1,087.03㎡</li> <li>・構造等 鉄筋コンクリート造3階建て</li> </ul> <p>・支所内の各所属 園田地域振興センター、尼崎市社会福祉協議会園田支部、園田地区補導連絡所、園田証明コーナー、園田地域福祉担当、園田地域保健担当</p> <p>3 事業内容 施設全体の適正かつ効果的な管理・運営</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	7,043	7,092	7,951	
旅費	0	1	6	職員旅費
需用費	3,699	3,949	4,578	光熱水費、修繕料等
役員費	448	404	409	電話料、高架水槽等清掃
委託料	1,971	2,643	2,848	清掃、機械整備等
その他	925	95	110	25年度公用車購入等
人件費 B	5,947	5,455	5,626	
職員人工数	0.73	0.69	0.71	
職員人件費	5,947	5,455	5,626	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	12,990	12,547	13,577	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	50	50	49	自動販売機等電気料実費弁償金
一般財源	12,940	12,497	13,528	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った		適正かつ効果的な施設の維持管理を行うことにより、地域活動の拠点施設として、地域住民やグループ活動の交流機会に寄与した。								

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、市民に利用されており、必要不可欠な施設である一方、施設の老朽化や狭隘化が原因で市民に不便を強いていることから、施設管理者として安全かつ安心して利用してもらえるよう対応していかなければならない。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民に対し各種行政サービスを提供する施設であり、受益者負担を求める施設ではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	—
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無	施設維持管理において、専門業者に委託すべき業務は既に委託済である。支所は協働のまちづくりの拠点であり、全面的に民間に委ねるべきものではない。																									
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状					●	将来像					○	内容	施設の維持管理業務は行政の責任で行うものであるが、コミュニティルームの運営については、登録団体等が主体的に関わることが望ましい。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																										
	A	B	C	D	E																						
現状					●																						
将来像					○																						

⑧総合評価

総合評価	維持	地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供を行う施設として現在も必要性が高く、地域住民のための施設として有効に機能しており、今後とも継続して適切な管理運営に努める。
------	----	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	施設が老朽化しており、公共施設の再配置の視点を踏まえ、建替えが必要であるが、地域活動の拠点及び各種行政サービスの提供施設として、使いやすく快適な施設環境づくりに引き続き取り組んでいく。
--------	--

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	地域資源活用型まちづくり推進事業費 1E1A	事業分類	ソフト事業
根拠法令	—	事業区分	裁量的
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	平成9年度	款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ	項	05 総務管理費
		目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	武庫地域振興センター、園田地域振興センター
所属長名	檜垣 龍樹、新家 謙和		

① 事業概要

事業実施趣旨	地域固有の地域資源を保有しているにもかかわらず、これまでは、この地域特性が活かされず画一的なまちづくりとなっていたため、清流にこころふれあう道づくりや自然と文化の森構想事業において、地域特性を活かしたまちづくりに取り組んでいる。両事業とも順調に進んでいるが、新たな参加者増への取り組みが課題となっている。
対象(誰を・何を)	市民
求める成果(どのような状態にしたいか)	武庫地区西側水路網や猪名川と藻川に囲まれた地域とその周辺に残る自然環境を活かし、それらを全市民的財産として捉え守りながら、市民が誇りに思い、多くの人が憩い、楽しみ、学ぶことができる地域にするため、計画・整備し、多様な主体と協働で取り組むことにより、個性と魅力あふれるまち、いきいきと暮らすまちづくりを目指す。
事業概要	清流にこころふれあう道づくりについては、武庫地区を横断する農業用水路や自然環境に着目し、武庫中学校、小学校、幼稚園の間の道路・水路を学校、市民とともに子ども達が水辺とふれあえる空間を目指し整備していく。自然と文化の森構想事業については、猪名川と藻川に囲まれた地域とその周辺部に残る自然環境、歴史・文化資源の「価値」を再発見し、皆の財産として守り、活かしながら憩い、楽しみ、学ぶことのできる地域を目指す。
実施内容	清流にこころふれあう道づくり事業(武庫地域振興センター) 1 武庫小学校との連携(ホテルの住む環境づくり 3年生の環境学習) 水路調査 6月20日、ホテルの幼虫放流 11月17日 485人 2 拠点整備 水路清掃、花壇の植栽等 120人 3 清流にふれあう道づくり(地域資源としてのPRイベント) 7月25日 打ち水大作戦Inむこっ子ロード 100人(うち工作参加者 16人) 10月8日 お月見会Inむこっ子ロード 150人(うち団子作り参加者 27人) 3月28日 むこっ子お花見ロード 100人(遊びコーナー参加者 23人 お茶席参加者 30人)  自然と文化の森構想推進事業(園田地域振興センター) 1 公開型意見交換会の場「プラットフォーム」の開催(主催:尼崎市、プラットフォーム有志) 偶数月は「自然を楽しもう。」、奇数月は「園田の歴史を知ろう。」をテーマに毎月第3火曜日に実施。平成26年度実績 12回、参加者数 112人 2 市民の主体活動の支援 各種イベント 平成26年度実績 28回、参加者数 4,880人

② 事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	1,563	547	549	
需用費	56	40	56	消耗品費
委託料	1,500	500	485	清流にこころふれあう道づくり事業委託
使用料及び賃借料	7	7	8	会場使用料
繰出金				
その他				
人件費 B	2,998	3,547	3,305	
職員人工数	0.40	0.48	0.45	
職員人件費	2,998	3,547	3,305	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	4,561	4,094	3,854	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	4,561	4,094	3,854	

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	イベント等の参加者		単位	人
目標・実績	目標値	—	達成年度	—年度
			24年度	5,687
			25年度	5,313
			26年度	5,947
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った			
	地域の各種団体と学校・行政等が協働してまちづくりを実施することにより、地域コミュニティや教育環境の向上に効果が上がっており、参加人数も増加傾向にある。今後ますます主体間の連携を深め、ネットワークの裾野を広げていくよう展開していく。			

④ 必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域住民や多くの団体等との連携と協働で行われる地域創造を目指すモデル事業として取り組んでいくことから、必要性は高い。 また、自然空間の創造をテーマとし、地域・学校・行政が協働してまちづくりを実施することにより、コミュニティや教育環境の向上に寄与している。
---------	--

⑤ 受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	清流にこころふれあう道づくりのイベント及び自然と文化の森協会自主事業については、参加費(保険料、材料費実費等)を徴収して事業展開している。
----------	--	---

⑥ 他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	清流にこころふれあう道づくり事業については、平成12年度に第2次基本計画における戦略プラン「ふれあいの自然環境づくり」において、身近な自然環境の復元に取り組む協働の取り組みとして位置づけられ、平成17年度から協働のモデル事業として実施している。 自然と文化の森事業については、平成13年度に策定された「自然と文化の森構想」に基づき、協働のモデル事業として進められている。 これらの事業を進めることで、他の自治体に先駆けて市民・行政の協働の取り組みを学んできた。
---------------	--

⑦ 担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無	協働の事業として、委託できるものは既に委託している。 平成24年度に策定した第3期むこっ子ロード整備実行計画の着実な実行及び、自然と文化の森協会自主事業の後援、情報発信、有益な情報提供は継続して行っていく。																								
委託等の可能性																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状		●				将来像		○				清流にこころふれあう道づくり事業の整備計画は市民と行政のワークショップにより策定した。また、自然と文化の森協会実施事業への支援、情報発信、情報提供は継続して行っていく。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																									
	A	B	C	D	E																					
現状		●																								
将来像		○																								

⑧ 総合評価

総合評価	<b>維持</b> 自然空間の創造をテーマとし、地域・学校・行政が協働してまちづくりを実施することにより、コミュニティや教育環境の向上に寄与している。 自然環境の復元とイメージ向上を維持していくため、今後とも活動の継続的の支援を行っていくとともに、積極的な情報発信を行っていく。
------	---

⑨ 改善の方向性

今後の改善策	清流にこころふれあう道づくり事業については、平成26年度からは第3期整備実行計画を見直し、最終年度の予算を3期に分け、地域住民の資源として、水辺のふれあひ空間を活かしたイベントや、水路の生き物教室等様々な事業を展開していく。 自然と文化の森構想事業については、公開型意見交換会「プラットフォーム」の手法等を検討していく必要がある。今後とも主体間の連携を深め、ネットワークの裾野を広げていくように展開していく。
--------	---

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	コミュニティ活動推進事業費	1E1J	事業分類	ソフト事業
根拠法令	尼崎市コミュニティ活動功労者表彰要綱		事業区分	裁量的
個別計画	尼崎市人権教育・啓発推進基本計画(評価:無)		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和57年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当、中央地域振興センター、小田地域振興センター
所属長名	安福 真理子、田村 良二郎、高田 繁樹		

①事業概要

事業実施趣旨	まちづくりの参加意識の高揚を図り、自治意識の形成に努めるため、よりよいまちづくりを目指して自発的に奉仕活動を行う人々を顕彰するとともに地域活動グループ等の活動を紹介し、地域住民の意識高揚を図る必要がある。
対象(誰を・何を)	地域活動などで貢献した市民等
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域活動を通じて地域に貢献した方々を表彰すること、地域に市民活動等の情報を発信することによって、住民の自治意識を啓発し、より多くの人が進んでまちづくりに参加する地域社会
事業概要	コミュニティ活動の中核となり、実践活動をしている個人や団体の表彰等を行うことにより、より豊かな地域社会づくりを目指す。
実施内容	<p>○コミュニティ活動功労者表彰 コミュニティ活動の中核となり、実践活動をしている者を表彰することにより、より豊かな地域社会づくりに資することを目的とする。(26年度 15組(2団体、13個人))</p> <p>○コミュニティ活動推進事業(中央) コミュニティルーム登録グループ(平成27年3月31日現在、27グループ)の活動を支援することにより、地域力を醸成し、地域連携活動の活性化を図るためのコミュニティづくりを推進する。</p> <p>○コミュニティ活動推進事業(小田) 地域情報紙「小田がまち瓦版」の発行(年3回、各4,000部)等</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	2,682	204	195	
報償費	11	14	20	表彰関係経費
需用費	171	190	175	コミュニティルーム運営事業費(消耗品)等
負担金補助及び交付金	2,500	0	0	
人件費 B	15,606	10,817	7,947	
職員人工数	2.57	1.86	0.90	
職員人件費	15,606	10,817	6,898	
嘱託等人件費			1,049	
合計 C(A+B)	18,288	11,021	8,142	
C の 財 源 内 訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	18,288	11,021	8,142	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	被表彰者数(成果を検証するための実態の把握が困難なため活動指標を設定)					単位	人				
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	11	25年度	14	26年度	15
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った										
	地域活動を通じて地域に貢献した方々を表彰することによって、住民の自治意識に一定の効果が見られるが、新たに表彰の対象となるような地域での人材の掘り起こしを行う必要がある。										

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	より多くの人が進んでまちづくり活動へ参加するためには、地域活動を通じて地域に貢献した方々を表彰することや、地域での市民活動の状況を情報誌の発行を通して発信することで、住民の自治意識を啓発する必要がある。また、このように地域課題を共有することで、住民の自治意識高揚に有効である。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	表彰事業については行政が主体となって取り組むべきであり、受益者負担の考え方は馴染まない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	阪神間他都市(芦屋市、西宮市、伊丹市、三田市、川西市)においても類似する制度があり、受賞者数を比較すると、本市の受賞者実績数は多い。
---------------	--

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無	表彰事業等を通しての住民の自治意識を啓発する取組は行政で行うものとするため。																									
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状				●		将来像				○		内容	表彰事業については、市政サポーターの協力を得ながら行政の主体性のもとに実施している。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																										
	A	B	C	D	E																						
現状				●																							
将来像				○																							

⑧総合評価

総合評価	維持	地域で活動している団体等の掘り起こしや住民の自治意識の啓発を行う必要がある。
------	----	--

⑨改善の方向性

今後の改善策	受賞を励みとしている個人や団体も多いため、今後も引き続き、地域に貢献した方を表彰していくとともに、地域振興センターやボランティアセンターなどと連携しながら、地域で活動されている個人や団体等の掘り起こしを行っていく。
--------	---

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	市民運動推進事業費	1E1M	事業分類	ソフト事業
根拠法令	尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例等		事業区分	裁量的
個別計画	尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画(後期計画)(評価:有)等		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和43年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当、中央地域振興センター
所属長名	安福 真理子、田村 良二郎		

①事業概要

事業実施趣旨	生活環境を改善し、住み良いまちづくりを促進するには、そこに住み・集い・働く人々が、わがまち意識をもち、自発的に事業に参加することが重要である。
対象(誰を・何を)	市民
求める成果(どのような状態にしたいか)	生活環境を改善し、住み良いまちづくりを促進するために、そこに住み・集い・働く人々が、わがまち意識をもち、自発的に事業に参加する。
事業概要	市民の創意と参加によって明るく住みよき豊かなまちを目指すため、市民運動を総合的に推進し、尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例をもとに、市民運動推進委員会総会及び阪神尼あんしんまちづくり事業を実施する。
実施内容	<p>○市民運動推進委員会総会 市長が本部長を務め、各地区ごとに設けられた地区推進協議会、各種団体及び関係行政機関78団体、学識経験者2名をもって構成する。本委員会は市民の創意と参加によって明るく住みよき豊かなまちを目指して、市民運動を総合的に推進するために設置されている。 【26年度総会実績】 開催日：平成26年6月26日(木) 場所：尼崎市立すこやかプラザ 人員：46人</p> <p>○阪神尼あんしんまちづくり事業 阪神尼崎駅前、特に神田新道地区を中心として地域みんなが安心して集え楽しめるまちにするため地域住民、地元事業者が中心となり、阪神南泉民局、尼崎南警察署、尼崎市が協働して環境浄化に取り組む。 【平成26年度の取り組み】 ①駐車違反取締り 駐車標章3,002件 駐車検挙747件(平成26年1～12月) 放置自転車撤去106台 ②不法看板等の撤去 65件 ③風俗環境浄化対策 風俗店立ち入り80件 行政処分24件 検挙(風営法)2件(平成26年1～12月) ④啓発キャンペーン事業 回数 6回(エフ貼り2ヶ月に1回実施・各40人参加、阪神尼崎駅前周辺地区まちづくりアピールパレード1回実施・214人参加)</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	199	178	674	
需用費	158	152	337	総会資料浄書、消耗品等
役員費	30	15	0	切手代
使用料及び賃借料	11	11	12	総会会場資料料
委託料	0	0	325	クリーン運動収集委託(27～事業追加)
人件費 B	10,183	11,266	13,732	
職員人工数	1.25	1.43	1.73	
職員人件費	10,183	11,266	13,651	
嘱託等人件費			81	
合計 C(A+B)	10,382	11,444	14,406	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	10,382	11,444	14,406	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—(本事業について総合的に表す指標がないため)							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った										
	啓発キャンペーン事業のエフ貼りについては25年度と同程度の人数の参加者を確保できた。阪神尼崎駅前周辺地区まちづくりアピールパレードについては昨年実績を超える214人の参加があり、今後とも警察、その他の団体との協力体制をより強化し啓発を行っていく。										

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	市民の創意と工夫により、明るく住み良い豊かなまちづくりを目指すため、それぞれの事業を実施することにより市民意識の高揚を図れている。また、警察や各種団体との協力体制を強化することによって、住み良いまちづくりを促進できている。
---------	---

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	本事業は、市民や団体等との協働により市民運動を推進しているものであり、受益者負担を求めることは適正ではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	各都市においてコミュニティ組織の形態が異なるため、単純な比較は難しい。
---------------	-------------------------------------

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民の領域 ⇄ 行政の領域	内容	引き続き、様々な分野で市民、事業者、警察等と協働で施策を実施していく。
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無			
協働の領域	現状	A B C D E		
	将来像		○	

⑧総合評価

総合評価	維持	よりよいまちづくりを目指して自発的に奉仕活動を行うなど、それぞれの事業を通して地域住民の意識高揚を図る必要がある。
------	----	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	引き続き、様々な分野で市民、事業者、警察等と協働で施策を実施し、安全・安心の確保に努める。
--------	---

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	10万人わがまちクリーン運動事業費 1E1N	事業分類	ソフト事業
根拠法令	「春の10万人わがまちクリーン運動」実施要領	事業区分	裁量的
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	平成8年度	款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ	項	05 総務管理費
		目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当
所属長名	安福 真理子		

①事業概要

事業実施趣旨	ごみのないきれいなまちは、誰にとっても心地よいものである。まちの美化推進を行うにあたり、市民自らが地域の美化に取り組むことが大切であり、市民のわがまち意識やまちづくりへの参加意識を高める必要がある。
対象(誰を・何を)	市民・事業者
求める成果(どのような状態にしたいか)	日常から、市民自らの手でまちの美化を推進していくという意識のもと、自発的に環境美化活動を行うような地域コミュニティができていく。
事業概要	市民自らの手でまちの美化を推進するため、市民・事業者・行政が一体となったクリーン運動(清掃活動)を毎年5月に一斉に実施する。
実施内容	市制80周年を契機に市、市民、事業者が一体となって取り組んだ全市一斉の「10万人わがまちクリーン運動」を継続して実施しており、河川敷清掃、駅前広場清掃、駅前放置自転車対策、一般道・自宅・事業所・学校周辺、道路清掃などを行っている。また、市職員についても自主的な参加を呼びかけ、全庁的に取り組んでいる。  平成18年度 26,750人 48.7トン 平成19年度 29,510人 46.6トン 平成20年度 32,279人 32.3トン 平成21年度 31,900人 38.1トン 平成22年度 34,420人 32.4トン 平成23年度 30,599人 34.1トン 平成24年度 28,992人 32.1トン 平成25年度 26,985人 28.4トン 平成26年度 30,733人 30.3トン 平成26年度は、5月18日(日)に尼崎市全域6地域の上記の場所にて実施。

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	164	416	0	
需用費	164	180		
委託料		236		
人件費 B	2,037	1,581	0	
職員人工数	0.25	0.20		
職員人件費	2,037	1,581		
嘱託等人件費	0			
合計 C(A+B)	2,201	1,997	0	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	2,201	1,997	0	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	参加者人数(成果指標の設定が困難であるので、事業の展開が分かりやすい参加者人数を活動指標として設定した。)						単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—年度	24年度	28,992	25年度	26,985	26年度	30,733
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 市民の参画機運が高まり、環境美化活動への積極的な活動が推進されている。近年、NPO団体や企業の積極的な清掃活動に参加したいという問い合わせがあるなど、市民の関心の高さをうかがうことができる。									

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	市民・事業者・行政が一体となったクリーン運動(清掃活動)を行うことにより、環境美化活動が、市全体の環境美化につながっている。また、市民自らの手でまちの美化を推進していくという意識改革の啓発に役立っており、本事業によって、きれいなまちづくりが維持されている。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民・事業者・行政が一体で取り組んでいるクリーン運動のため、受益者負担には、該当しない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	阪神間の他都市でも、同様の事業を実施されており、市民の参加人数が多く、関心の高さがうかがえる。
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民のまちの美化への意識が高まれば、市民運動団体や各地域での自主的な実施は可能と考える。																								
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																									
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状			○			将来像						内容は、市民・事業者・行政が一体となって実施しているが、将来的には、主体を市民運動団体や各地域での自主的な取り組みとして実施することが望まれる。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																									
	A	B	C	D	E																					
現状			○																							
将来像																										

⑧総合評価

総合評価	維持  平成15年度までは、本市主導で春と秋に実施していたが、平成16年度から、秋は市民、地域、事業者が主体となり、市は、地域の自治活動が活発に行われるよう支援している。一人でも多くの市民が本事業の主旨を理解し、環境美化活動に協力してもらうため、継続が必要と考える。
------	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	今後は、さらに参加者増に向けた取組を進めるとともに、自発的な清掃活動を実施してもらえるように周知に努めていく。例年、クリーン運動にあわせて家庭や事業所の不要ごみなどを投棄するケースが見られるため、マナー啓発についても継続していく。ゴミ収集時の事故について、ボランティア参加では、事故の責任の所在が明確にならない事から平成26年度から収集業務は委託としている。また、平成28年に市制100周年及び100周年以降の取組みについて検討を行っていく。
--------	---

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	あまがさきチャレンジまちづくり事業費 1E1P	事業分類	補助金・負担金
根拠法令	あまがさきチャレンジまちづくり事業補助金交付要綱	事業区分	裁量的
個別計画	尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画(後期計画)(評価:有)等	会計	01 一般会計
事業開始年度	平成17年度	款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ	項	05 総務管理費
		目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当、中央地域振興センター、小田地域振興センター、大庄地域振興センター、立花地域振興センター、武庫地域振興センター、園田地域振興センター
所属長名	安福 眞理子、田村 良二郎、高田 繁樹、西村 庄司、南 敏彦、檀垣 龍樹、新家 謙和		

① 事業概要

事業実施趣旨	行政が主導してまちづくりを行うだけでなく、協働のまちづくりを推進する中で、地域で活動するグループ・団体等が自立して活動することが不可欠であり、こうした団体の側面的支援が求められている。
対象(誰を・何を)	地域でまちづくりに取り組む市民活動団体
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域で活動するグループ・団体等を支援し、特に、地域で活動するグループが自立し活動することを目標に支援することによって地域活動の活性化を目指す。
事業概要	あまがさきチャレンジまちづくり事業補助金交付要綱に基づき、「地域をよりよくするため市民自ら考え、力を合わせて実施する活動」で公益的なものに対し補助を行うことにより地域社会の連帯を深め、本市まちづくりの推進を図る。
実施内容	地域住民が自ら地域の課題解決に取り組むなど主体的な地域コミュニティの形成を促進するため、地域で活動を行う団体・グループが実施する事業に対して支援を行う。 ○市民運動各地区推進協議会事業補助(決算額:7,200千円 @1,200千円×6地区) 各地区における連帯感の醸成とコミュニティづくりの促進を図るとともに、地域で活動するグループ・団体相互の交流と活動の発展に資する事業を促進するため、地域の各種団体で構成されている市民運動各地区推進協議会が実施する事業に対して補助する。 ○地域コミュニティ活動支援事業補助(決算額:3,285千円 6地区計38事業) 概ね10人以上で構成される市民活動団体が、地域課題解決に取り組む公益的な事業に対して補助する。(補助対象経費の4/5以内、1事業10万円まで) ○あまらぶチャレンジ事業補助(決算額:2,074千円 計11事業) 概ね10人以上で構成される市民活動団体が、全市、市内の複数の地域にまたがる広域的な範囲で行う公益的な事業に対して補助する。(3年コース補助対象経費の1/2以内、1事業30万円まで1年コース補助対象経費1割、1事業30万円) ○地域活動支援コーディネーター事業(決算額:145千円 活動実績:計29回) 地域コミュニティ活動に知識と経験を有するコーディネーター(NPO理事等)を派遣し、地域振興センターと連携して活動グループ・団体指導・助言を行うとともにグループ・団体相互のネットワーク化を推進する。

② 事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	12,854	12,774	14,376	
報償費	255	145	400	地域活動コーディネーター報償費等
需用費	70	67	223	募集要項の浄書等
負担金補助金交付金	12,529	12,558	13,500	事業補助、地域コム、あまらぶチャレンジ事業分
使用料及び賃借料		4	157	あまらぶジュニアコース合宿経費等
その他			96	
人件費 B	14,022	13,552	9,842	
職員人工数	1.94	2.17	1.49	
職員人件費	13,955	13,552	9,842	
嘱託等人件費	67			
合計 C(A+B)	26,876	26,326	24,218	
C 国庫支出金				
県支出金		175	175	県民交流広場事業費補助金
市債				
その他		4,288	9,900	協働のまちづくり活動支援事業交付金
一般財源	26,876	21,863	14,143	

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	補助事業数(地域コミュニティ活動支援事業補助、あまらぶチャレンジ事業補助)(成果を検証するための実態の把握が困難なため活動指標を設定)		単位	事業
目標・実績	目標値	—	達成年度	—年度
			24年度	49
			25年度	48
			26年度	49
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った ステップアップ事業をあまらぶチャレンジ事業に名称を改め、多様でユニークな提案を募るため新たな補助割合を定めた(新)あまらぶアイデアコースを設置し制度のさらなる活性化を図るとともに、事業の自立を図るため補助年限を設置した。			

④ 必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域課題の解決に向けて活動するグループ・団体を支援することによって、主体的な地域コミュニティ形成を促進し、地域活動の活性化に寄与できている。補助団体に対しては、財源支援にとどまらず、補助金制度に対する意識の向上や団体事務能力の向上が見込まれるなど、補助団体の地域における今後の活躍が期待できる。
---------	---

⑤ 受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

⑥ 他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	阪神間他都市においても、予算規模、補助金額や補助率がそれぞれ異なるものの、地域コミュニティ活動支援事業補助やあまらぶチャレンジ事業補助と類似する制度があり、補助金の交付実績を比較する中では、本市の補助事業数は多い。
---------------	---

⑦ 担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無
協働の領域	市民の領域 ⇄ 行政の領域 A B C D E 現状 将来係
内容	地域団体やコミュニティ活動グループを支援する補助事業であるため。

⑧ 総合評価

総合評価	<b>拡充</b> 平成17年度から「あまがさきチャレンジまちづくり事業」を開始し、地域の課題解決に取り組むグループや団体の事業を支援してきた。各地区で小規模であるが福祉活動を行っている団体があり、今後も事業の継続が必要であると認められるため、支援・育成は必要であると考えており、平成27年度から青少年の活動を支援するため、あまらぶジュニアコースを新設した。
------	--

⑨ 改善の方向性

今後の改善策	当初制度を構築した際には、地域コミュニティ活動支援事業で実績をあげた団体が事業規模を拡大し、ステップアップ事業に応募することを期待していたが、現状ではそういった傾向はあまり見られない。また、ステップアップ事業において応募数は漸減傾向、多年にわたり同一事業を継続して補助金を受ける団体も見受けられる。このような状況を踏まえ、本制度の周知を図り多様化する市民活動ニーズに対応することを旨とし、平成26年度よりステップアップ事業をあまらぶチャレンジ事業に名称を改め、多様でユニークな提案を募るため新たな補助割合を定めた(新)あまらぶアイデアコースを設置し制度のさらなる活性化を図るとともに、事業の自立を図るため補助年限を設置するとともにあまらぶジュニアコースを新たに設置した。
--------	---

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	あまがさき市民まつり事業補助金	1E1R	事業分類	補助金・負担金
根拠法令	市民まつり補助金要綱		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	平成25年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当
所属長名	安福 眞理子		

① 事業概要

事業実施趣旨	行政・市民・事業者等から構成される「尼崎市民まつり協議会」で企画、運営実施する。
対象（誰を・何を）	市民及び近隣他都市住民
求める成果（どのような状態にしたいか）	市民まつりが、市政の誕生を祝う主旨からはじまったことから、市民に親しまれ参加したい事業であるとともに、市内で活躍する団体が、市民まつりの企画及び実施を連携して取り組むことにより、互いにコミュニケーションを深めながら特定の地域や団体にとられない市民活動の促進が図られることが望ましい。
事業概要	昭和47年から市民相互の親睦と連帯意識を高め、市の発展を目的とし開催。平成25年度より市の関与を段階的に高め企画内容を充実させていくことにより、市制100周年をむかえる平成28年度第45回市民まつりにおいて、尼崎市民まつり基本方針の達成に向けて、協賛金全額を企画等に充当するため、市としてまつり事務局に補助金を支出する。
実施内容	平成26年10月12日（日）午前10時から午後7時まで。 市役所周辺及び橘公園にて開催。 地域団体の代表者等で構成する市民まつり実行委員会を組織し、各部会に分かれて企画・運営を行う。 （部会構成） 出店部会 ・ ステージ部会 ・ 展示部会 ・ 子ども広場部会 ・ サポート部会 ・ 防災部会 ・ 警備安全部会

② 事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	2,000	2,000	2,500	
負担金補助及び交付金	2,000	2,000	2,500	
人件費 B	4,073	3,558	2,219	
職員人工数	0.50	0.45	0.28	
職員人件費	4,073	3,558	2,219	
嘱託等人件費				
合計 C (A+B)	6,073	5,558	4,719	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
財源内訳 一般財源	6,073	5,558	4,719	

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	市民まつり参加者数(来場者数)		単位	人						
目標・実績	目標値	60,000	達成年度	28年度	24年度	45,000	25年度	50,000	26年度	53,000
26年度の目標に対する達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 市民参画意識が高まる市民まつりを実現するため、要綱に基づき必要な支援を行った。									

④ 必要性・有効性の点検

必要性・有効性	市の関与を段階的に高めていくことにより、市制100周年に向けた尼崎市民まつり基本方針を実現することができ、市の発展に向けて、市民相互の連帯意識を高めることができる。
---------	--

⑤ 受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

⑥ 他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	阪神間において、市民まつり、花火大会等に、本市同様の補助をしている。
---------------	------------------------------------

⑦ 担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無																								
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																								
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状		●				将来像		○			
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																								
	A	B	C	D	E																				
現状		●																							
将来像		○																							
内容	尼崎市民まつり基本方針に則り行う事業であるが、市民主体で構成される実行委員会等に、市は部会員として参画している。																								

⑧ 総合評価

総合評価	拡充 市制100周年への機運を高め、平成28年度第45回市民まつりにおいて、尼崎市民まつり基本方針の達成に向けて、協賛金全額を企画等に充当し、より話題性があり、市のPRに資する企画を実施し、市民まつり協議会による、さらに魅力的なまつりの開催を支援する。
------	---

⑨ 改善の方向性

今後の改善策	市制100周年への機運を高めるため、まつりへの財政的な市の関与を行い、企画内容を充実させていくことにより、市制100周年をむかえる平成28年度第45回市民まつりにおいて、この尼崎市民まつり基本方針に則り、より市民参画意識が高まる市民まつりを実現する。 平成26年度は開催時間を2時間延長し、午前10時から午後7時までの開催時間となった。 また、101周年以降の市民まつりのあり方について検討していく。
--------	--

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	福祉会館等維持管理事業費	30H1	事業分類	施設管理運営
根拠法令	—		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和47年度		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 社会福祉費
			目	05 社会福祉総務費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当、大庄地域振興センター、立花地域振興センター、園田地域振興センター
所属長名	安福 眞理子、西村 庄司、南 敏彦、新家 謙和		

①事業概要

事業実施趣旨	地域福祉の増進を図るため、住民の集會等を目的として建設した市の財産である福祉会館等の維持管理について、補修・修繕を行う必要がある。老朽化した施設も多く、年々、補修・修繕の必要性が高まっている。
対象(誰を・何を)	福祉会館等
求める成果(どのような状態にしたいか)	当該施設は、地域が管理を行う契約を締結している施設であるため、地域において自主運営の考え方を基本に、日常の維持管理については地域で行う。
事業概要	福祉会館等の施設維持管理
実施内容	<p>地域福祉の増進を図るため集會所の場を提供する。</p> <p>○福祉会館維持管理事業</p> <p>① 施設数 28</p> <p>② 竣工年 昭和48年～平成17年</p> <p>③ 管理 地元の社会福祉協議会等による自主管理</p> <p>○福祉会館等維持管理事業(立花 国有地)</p> <p>三反田会館の土地が国有地であるため借地料を支払う。</p> <p>○園田幼稚園維持管理事業(大庄、園田)</p> <p>① 施設数 2</p> <p>② 竣工年 昭和56年(大庄)、昭和43年(園田)</p> <p>③ 管理 地元の社会福祉協議会等による自主管理</p> <p>○戸ノ内会館維持管理事業(園田)</p> <p>① 竣工年 昭和58年</p> <p>② 管理 尼崎市(2階部分を地元の社会福祉連絡協議会に貸付している)</p> <p>○崇徳院会館漏水補修(大庄) ○園田幼稚園漏水補修(大庄)</p> <p>○立花福祉会館外壁補修(立花) ○猪名寺会館鉄扉補修(園田)</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	2,566	2,229	3,061	
需用費	956	1,267	1,994	福祉会館光熱水費・修繕料
委託料	1,098	415	525	戸ノ内会館維持管理経費
使用料及び賃借料	512	505	506	国有地借地料経費
役務費		42	36	電話料
その他				
人件費 B	9,929	4,305	3,695	
職員人工数	0.79	0.73	0.62	
職員人件費	4,727	4,258	3,547	
嘱託等人件費	5,202	47	148	
合計 C(A+B)	12,495	6,534	6,756	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	25	134	30	戸ノ内会館実費弁償金
一般財源	12,470	6,400	6,726	

(単位:千円)

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	—							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	—	25年度	—	26年度	—
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 集会施設は地域で活用する施設であるため、地域において自主管理を行っている。										

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域で主体的に維持管理及び日常的な補修・修繕をしていくが、老朽化した施設も多く、市の保有財産として、躯体にかかる部分の補修・修繕の必要性が高まっている。地域住民のコミュニティ活動支援としての集會等を行う施設の維持管理費を助成することで、地域福祉の増進を図り、住民意識の高揚を図ることができる。
---------	--

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	福祉会館については、地域住民の集會等の活動の場として地域に無償貸与しており、施設を管理運営している地域において、会館の利用者から使用料を徴収し維持管理費用に充当している。
-----------------	--	---

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	各市により、地域の実情や会館設立の経緯経過によって、会館の修繕費等の負担分については差異があることから、比較は難しい。
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無	施設の管理運営は地域が主体性を持って行い、行政は地域での自主運営の範囲を超えるような修繕等に備えることで、それぞれの役割分担ができており、地域のコミュニティ活動を支援している。
委託等の可能性		
協働の領域	市民の領域 ⇄ 行政の領域 A B C D E 現状 ○ ●	施設の管理運営は地域が主体性を持って行い、行政は地域での自主運営の範囲を超えるような修繕等に備えることで、地域のコミュニティ活動を支援している。

⑧総合評価

総合評価	維持	地域で主体的な維持管理をしていくが、自主運営の範囲を超えるような補修・修繕に備え、計画的に修繕・補修を進めることで、地域福祉の増進を図るための施設を維持でき、住民意識の高揚に寄与できる。また、平成24年度公開事業たな卸しにて指摘のあった、各福祉会館の利用実態、稼働率等については把握できている。また、建物の老朽化や地域における維持管理能力等の課題解決に向けた、関係課による庁内検討会議体を設置した。
------	----	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	引き続き、地域で主体性を持って維持管理をしていくが、地域の自主運営の範囲を超える修繕等の発生に備え、計画的に補修・修繕を行っていく。また、福祉会館のあり方について、報告された利用実態、稼働率等の状況を踏まえて、公共施設全体の中で検討していく。
--------	---

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	尼崎市社会福祉協議会補助金	3011	事業分類	補助金・負担金
根拠法令	尼崎市社会福祉法人助成条例第4条		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和26年度		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 社会福祉費
			目	05 社会福祉総務費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当
所属長名	安福 真理子		

① 事業概要

事業実施趣旨	尼崎市社会福祉協議会は本市における地域福祉、地域自治の担い手として、重要な役割を果たしており、経営基盤を安定させ、活動の充実を図ることにより地域福祉、地域自治のより一層の推進が望まれる。
対象 (誰を・何を)	尼崎市社会福祉協議会
求める成果 (どのような状態にしたいか)	尼崎市社会福祉協議会を支援することにより、本市における地域自治、地域福祉が一層推進される。
事業概要	尼崎市社会福祉協議会に補助金を交付し、自主財源に乏しい本部、支部の運営を側面的に支援し地域振興機能の充実を図るとともに、連絡協議会、単位福祉協会の活動を助成する。 一方、同協議会が加入促進に努め広く市民が参画する組織になるとともに、経費削減や市民サービスの向上に取り組む等、経営体質の改善に向けた取り組みを促す。
実施内容	尼崎市社会福祉協議会が下記の事業を実施。 ○市社協は、市及び支部社協・連協・単組の事業等の連絡調整・とりまとめ・加入促進の取り組み ○各支部・連協共通事業 ・連絡調整・とりまとめ ・各種委員推薦等 ・日赤社資募集事業 ・共同募金・ともじの箱募金 ・善意銀行支店業務 ・チューリップ運動 ・広域コミュニティ活動 ・広域福祉活動 ○支部 ・老人給食グループの活動支援 ・緊急通報事業への協力 ・地域高齢者福祉推進事業の企画実施・活動支援 ・保健衛生協議会・婦人会・老人クラブ・遺族会等の事務局

② 事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	104,350	104,080	102,988	
食糧金補助及び交付金	104,350	104,080	102,988	
人件費 B	2,525	2,372	2,061	
職員人工数	0.31	0.30	0.26	
職員人件費	2,525	2,372	2,061	
嘱託等人件費				
合計 C (A+B)	106,875	106,452	105,049	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
市債				
その他				
一般財源	106,875	106,452	105,049	

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	社会福祉協議会加入率							単位	%		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	58.3	25年度	57.1	26年度	55.9
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成でせず <input type="checkbox"/> 下回った 加入世帯は、漸減傾向にあるが、尼崎市社会福祉協議会は、様々なふれあい型サービス事業等を実施するなど、新しいコミュニティの形成において欠かせない本市最大の住民組織であると評価している。										

④ 必要性・有効性の点検

必要性・有効性	「地域の人人がお互いに助け合って共に支えるまちづくりの推進」を目標に掲げて、様々な事業を展開し、本市における地域福祉、地域自治の担い手として、重要な役割を果たしている尼崎市社会福祉協議会に対して財政的な支援を行うことは必要かつ有効であると考えます。
---------	--

⑤ 受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

⑥ 他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	本市の社会福祉協議会に対する補助金は、地域自治と地域福祉を推進するための補助としての経過があることから他都市との比較は難しい。
---------------	---

⑦ 担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無	事業の性質(補助金)から民間に委託できるものではない。																									
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状						将来像	○					内容	尼崎市社会福祉協議会への補助事業であるため。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																										
	A	B	C	D	E																						
現状																											
将来像	○																										

⑧ 総合評価

総合評価	維持 尼崎市社会福祉協議会を支援することにより、本市における地域自治・地域福祉をより一層推進する。 また、平成24年度公開事業たな卸しにて指摘があった定款、組織図、予算・決算の概要等の「見える化」については平成24年度中に社会福祉協議会のホームページにおいて公表し、平成25年度には補助金の委託料の整理を関係局と行った。 また、事務分担表の提出を求め、補助対象事務量を明確にした。
------	---

⑨ 改善の方向性

今後の改善策	社会福祉法人として経営体質の改善に向けた事業の魅力化や加入率向上の取組を推進するとともに、人材育成や人事・給与制度など運営方法の見直しを促していく。加入率促進のための会議に参加し、具体的手法を検討し、市民課窓口での加入案内を行う。今後、外郭団体に関する基本方針が出たのち、その方針に沿って進める。
--------	--

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	集会所補助金	301A	事業分類	補助金・負担金
根拠法令	集会施設借上補助金交付要綱等		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和55年度(集会施設)、昭和59年度(集会借地)		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 社会福祉費
			目	05 社会福祉総務費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当、中央地域振興センター、小田地域振興センター、大庄地域振興センター、立花地域振興センター、園田地域振興センター
所属長名	安福 眞理子、田村 良二郎、高田 繁樹、西村 庄司、南 敏彦、新家 謙和		

①事業概要

事業実施趣旨	地域住民がコミュニティ活動として集会を行うにあたり、活動拠点として集会施設が求められている。
対象(誰を・何を)	市民
求める成果(どのような状態にしたいか)	地域住民の利用に供する集会施設の借上等を支援することで、コミュニティ活動の振興に寄与する。
事業概要	地域集会所の借地料、施設借上料の補助を行う。
実施内容	<p>○集会施設借上補助金 地域住民がコミュニティ活動として集会を行うために、近隣の施設を借上げる場合に必要な当該施設の使用料の一部を補助することにより、地域住民のコミュニティ活動の振興に寄与する。(補助率 1/2、限度額 12,000円/月)</p> <p>○集会所借地補助金 地域住民の利用に供するための集会所の敷地を借地している場合において、当該借地にかかる借地料の一部を補助することにより、地域住民のコミュニティ活動の振興に寄与する。(補助率 1/2、限度額 6,000円/月)</p> <p>平成26年度実績 【借上補助金】小田:1件・72,000円、立花:3件・432,000円、園田:1件・132,000円 【借地補助金】中央:3件・216,000円、小田:2件・117,240円、大庄:1件・72,000円、立花:2件・111,996円</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	1,165	1,153	1,154	
負担金補助及び交付金	1,165	1,153	1,154	
人件費 B	1,846	2,153	2,994	
職員人工数	0.32	0.40	0.49	
職員人件費	1,699	2,106	2,690	
嘱託等人件費	147	47	304	
合計 C(A+B)	3,011	3,306	4,148	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	3,011	3,306	4,148	

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	集会施設借上補助金、集会所借地補助金(成果指標の設定が困難であるため活動指標を設定)							単位	補助団体数		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	14	25年度	14	26年度	13
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った										
	地域福祉の増進や地域住民のコミュニティ活動の振興のために、要綱に基づき必要な支援を行った。										

④必要性・有効性の点検

必要性・有効性	地域福祉の増進や地域住民のコミュニティ活動の振興のために、地域での自主的な運営による集会所が必要である。施設借上料等の一部を補助することにより、地域住民のコミュニティ活動の振興が図られ、地域において自主的な維持管理運営がなされる。
---------	---

⑤受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

⑥他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	各市により、地域の実情や集会所設立の経緯経過によって、集会所等の負担分については差異があることから、比較は難しい。
---------------	---

⑦担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無																								
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																								
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状		●				将来像		○			
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																								
	A	B	C	D	E																				
現状		●																							
将来像		○																							
内容	地域住民が行うコミュニティ活動を支援するための補助事業であるため。																								

⑧総合評価

総合評価	維持	施設借上料の一部を補助することにより、地域住民が地域コミュニティ活動としての集会をすることができ、さらなる地域コミュニティの醸成が期待される。
------	----	---

⑨改善の方向性

今後の改善策	地域で自主的に運営されている地域集会所について、施設の借上げにかかる使用料等を一部補助することにより、地域におけるコミュニティ活動を支援していく。
--------	---

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	施設整備事業費	1C32	事業分類	施設管理運営
根拠法令	—		事業区分	義務等
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	—		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	75 支所及びサービスセンター費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	中央地域振興センター、小田地域振興センター、立花地域振興センター、武庫地域振興センター
所属長名	田村 良二郎、高田 繁樹、南 敏彦、 檜垣 龍樹		

①事業概要

事業実施趣旨	各支所について、施設を利用者に快適に供するとともに、効果的な運営を図るため必要な改修工事を行う。
対象 (誰を・何を)	開明庁舎(中央)、小田支所、立花支所、武庫支所
求める成果 (どのような状態にしたいか)	不特定多数の市民が来庁する施設として、安全かつ安心な施設環境を整備する。
事業概要	開明庁舎の太陽光蓄電システム設置工事、小田支所の受水槽溢水管改修工事、立花及び武庫支所の冷暖房設備工事を行う。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開明庁舎太陽光蓄電システム設置工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事内容 太陽光発電システム(太陽電池容量(17.28kW))、リチウムイオン蓄電池(15kWh)の設置</li> <li>・工事の時期 平成26年11月17日～27年3月20日 ・経費 25,853,509円</li> </ul> </li> <li>○小田支所受水槽溢水管改修工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事内容 溢水管接続工事</li> <li>・工事の時期 平成26年9月24日から10月9日</li> <li>・経費 842,400円</li> </ul> </li> <li>○立花支所冷暖房設備工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事内容 冷却塔ファン及び関連部品の取替</li> <li>・工事の時期 平成26年6月6日から7月20日</li> <li>・経費 950,400円</li> </ul> </li> <li>○武庫支所冷暖房設備工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事内容 3階空調設備整備工事及び工事に伴うガス設備整備工事</li> <li>・工事の時期 平成26年5月13日から8月10日</li> <li>・経費 5,539,320円</li> </ul> </li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	956	33,186	61,600	
需用費		9	100	
委託料			1,500	
工事請負費	956	33,177	60,000	
繰出金				
その他				
人件費 B	407	711	79	
職員人工数	0.05	0.09	0.01	
職員人件費	407	711	79	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	1,363	33,897	61,679	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金		25,671		
市債			61,400	
その他				
一般財源	1,363	8,226	279	

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	園田東会館管理運営事業費	30GK	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市立園田東会館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則		事業区分	義務等
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和49年度		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 社会福祉費
			目	05 社会福祉総務費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	園田地域振興センター
所属長名	新家 謙和		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	園田東会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	市民の生活文化の向上を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する施設として、効果的な運営を図る。
事業概要	園田東会館の管理運営
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 管理形態 直営管理 (平成27年4月1日から指定管理者制度を導入)</li> <li>2 施設概要                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工年 昭和49年</li> <li>・敷地面積 1,062.88㎡</li> <li>・延床面積 814.96㎡</li> <li>・構造等 鉄筋コンクリート造2階建て</li> <li>・開館時間 午前9時～午後9時 休館日 土・日曜日 休日 年末年始</li> </ul> </li> <li>3 事業内容 施設全体の適正かつ効果的な管理・運営</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	4,431	3,948	11,775	※平成27年度については指定管理者制度導入後である。
需用費	1,694	1,778	0	光熱水費、修繕料等
役員費	90	84	0	電話料
委託料	2,089	2,006	11,775	清掃、機械警備等
使用料及び賃借料	80	80	0	印刷機賃借料等
工事請負費	478			
人件費 B	15,491	9,745	631	
職員人工数	2.28	1.82	0.11	
職員人件費	13,630	8,499	476	
嘱託等人件費	1,861	1,246	155	
合計 C(A+B)	19,922	13,693	12,406	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	50	61	854	光熱水費等実費弁償金
一般財源	19,872	13,632	11,552	

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	戸ノ内施設関係事業費	30GM	事業分類	ハード事業
根拠法令	—		事業区分	義務等
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	平成26年度		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 社会福祉費
			目	05 社会福祉総務費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	園田地域振興センター
所属長名	新家 謙和		

①事業概要

事業実施趣旨	地域コミュニティ及び地域住民の交流の活性化を図る。
対象 (誰を・何を)	旧戸ノ内分館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	園田東連協及び戸ノ内連協の供用による集会所を建設することにより、地域コミュニティの更なる活性化、地域住民の交流の活性化を図る。
事業概要	公共施設の最適化の観点から、戸ノ内地域施設(園田東会館・戸ノ内会館)の集約を図るため、園田東会館大会議室及び戸ノ内会館2階集会所の代替機能を有する施設を旧戸ノ内分館跡地に集会所施設を建設する。
実施内容	<p>1 管理形態 集会所については地域において管理</p> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工年月 平成27年12月予定</li> <li>・敷地面積 392.96㎡</li> <li>・延床面積 150.00㎡</li> <li>・構造等 鉄骨造 平屋建</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	0	3,563	61,771	
需用費		31	4	電気料
役務費		102	33	電話料、損害保険料、完了検査
委託料		3,430	7,734	施設整備委託、設計業務委託、監督業務委託
工事請負費		0	52,900	解体及び建設工事
備品購入費		0	1,100	エアコン購入費
人件費 B	0	2,590	1,583	
職員人工数		0.17	0.23	
職員人件費		1,344	1,427	
嘱託等人件費		1,246	156	
合計 C (A+B)	0	6,153	63,354	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債			61,600	
その他				
一般財源	0	6,153	1,754	

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	中央地区会館指定管理者管理運営事業費	3T1A	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市立地区会館の設置及び管理に関する条例		事業区分	義務等
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和58年度		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	20 地区会館費
			目	05 地区会館費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	中央地域振興センター
所属長名	田村 良二郎		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	中央地区会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	地域住民や市民グループなどの活動、文化、ふれあいの場を提供する。
事業概要	中央地区会館の管理運営
実施内容	<p>1 実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年4月1日から指定管理者制度を導入</li> <li>・指定期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間) 3期目</li> <li>・指定管理者 (財)尼崎市スポーツ振興事業団</li> </ul> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工年 昭和58年</li> <li>・敷地面積 6,279.01㎡(サンシビック尼崎全体)</li> <li>・サンシビック尼崎における中央地区会館占有面積 1,776.70㎡</li> <li>・構造等 鉄筋コンクリート及び鉄骨造・地下1階地上4階建て</li> <li>・開館時間 午前9時～午後9時 休館日 毎週月曜日・年末年始</li> <li>・その他 サンシビック尼崎と併設</li> </ul> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸室施設の維持管理</li> <li>・貸室業務(利用件数、利用率) 平成26年度 3,155件、34.15%</li> <li>・指定管理者による自主事業(実施回数、利用者数) 平成26年度 19回、468人</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	28,586	29,403	29,450	
委託料	28,586	29,403	29,450	指定管理委託料
人件費 B	1,018	1,403	2,560	
職員人工数	0.13	0.18	0.32	
職員人件費	1,018	1,403	2,560	
嘱託等人件費				
合計 C (A+B)	29,604	30,806	32,010	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	3,988	3,737	6,722	地区会館使用料・福祉施設電話料等実費弁償金
一般財源	25,616	27,069	25,288	

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	小田地区会館指定管理者管理運営事業費 3T1L	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市立地区会館会館の設置及び管理に関する条例	事業区分	義務等
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和49年度	款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ	項	20 地区会館費
		目	05 地区会館費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	小田地域振興センター
所属長名	高田 繁樹		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	小田地区会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	地域住民や市民グループなどの活動、文化、ふれあいの場を提供する。
事業概要	小田地区会館の管理運営
実施内容	<p>1 実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月1日から指定管理者制度を導入</li> <li>指定期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間) 1期目</li> <li>指定管理者 尼崎市都市美化推進企業組合</li> </ul> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竣工年月日 昭和49年</li> <li>敷地面積 1,328.28㎡</li> <li>延べ床面積 1,548.65㎡</li> <li>構造等 鉄筋コンクリート造3階建て(一部4階建て)</li> <li>開館時間 午前9時～午後9時、休館日 毎週水曜日・年末年始</li> </ul> <p>3 事業内容、実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸室施設の維持管理</li> <li>貸室業務(利用件数、利用率) 平成26年度:5,358件 52.72%</li> <li>指定管理者の自主事業(実施回数、利用者数) 平成26年度:60回 1,284人(地区会館祭り含む)</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	23,179	23,929	23,843	
委託料	23,179	23,929	23,843	指定管理委託料
人件費 B	1,059	474	475	
職員人工数	0.13	0.06	0.06	
職員人件費	1,059	474	475	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	24,238	24,403	24,318	
C 国庫支出金				
の 県支出金				
財 市債				
源 其他	4,025	4,253	10,006	地区会館使用料・福祉施設電話料等実費弁償金
内 一般財源	20,213	20,150	14,312	
訳				

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	大庄地区会館指定管理者管理運営事業費 3T22	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市立地区会館の設置及び管理に関する条例	事業区分	義務等
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和53年度	款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ	項	20 地区会館費
		目	05 地区会館費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	大庄地域振興センター
所属長名	西村 庄司		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	大庄地区会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	地域住民や市民グループ等の活動、交流、ふれあいの場を提供する。
事業概要	大庄地区会館の管理運営
実施内容	<p>1 実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月1日から指定管理制度を導入</li> <li>指定管理期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)1期目</li> <li>指定管理者 大庄地区婦人連絡協議会</li> </ul> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竣工年 昭和53年</li> <li>敷地面積 1,562.09㎡</li> <li>延床面積 1,352.59㎡</li> <li>構造等 鉄筋コンクリート造2階建て</li> <li>開館時間 午前9時～午後9時 休館日 毎木曜日・年末年始</li> </ul> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸室施設の維持管理</li> <li>貸室業務(利用件数、利用率) 平成26年度:2,036件 24.48%</li> <li>指定管理者による自主事業(実施回数、利用者数) 平成26年度:346回 2,546人</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	20,840	21,436	21,546	
委託料	20,840	21,436	21,546	指定管理委託料
人件費 B	815	712	793	
職員人工数	0.10	0.09	0.10	
職員人件費	815	712	793	
嘱託等人件費	0	0	0	
合計 C(A+B)	21,655	22,148	22,339	
C 国庫支出金				
の 県支出金				
財 市債				
源 其他	2,201	2,351	4,430	地区会館使用料・福祉施設電話料等実費弁償金
内 一般財源	19,454	19,797	17,909	
訳				

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	立花地区会館指定管理者管理運営事業費 3T2B	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市立地区会館の設置及び管理に関する条例	事業区分	義務等
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和55年	款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ	項	20 地区会館費
		目	05 地区会館費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	立花地域振興センター
所属長名	南 敏彦		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	立花地区会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	地域住民や市民グループなどの活動、交流、ふれあいの場を提供する。
事業概要	立花地区会館の管理運営
実施内容	<p>1 実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月1日から指定管理者制度を導入</li> <li>指定期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)1期目</li> <li>指定管理者 尼崎中高年事業株式会社</li> </ul> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竣工年 昭和55年</li> <li>敷地面積 1,991.32㎡</li> <li>延べ床面積 1,497.30㎡</li> <li>構造等 鉄筋コンクリート造3階建て(1部4階建て)</li> <li>開館時間 午前9時～午後9時、休館日 毎週水曜日・年末年始</li> <li>その他 大西保育所と併設</li> </ul> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸室施設の維持管理(利用件数、利用率) 平成26年度:2,646件 28.64%</li> <li>指定管理者による自主事業(実施回数、利用者数) 平成26年度:30回 478人</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	18,964	19,506	19,596	
委託料	18,964	19,506	19,596	指定管理委託料
人件費 B	1,725	1,502	1,506	
職員人工数	0.20	0.19	0.19	
職員人件費	1,630	1,502	1,506	
嘱託等人件費	95			
合計 C(A+B)	20,689	21,008	21,102	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	3,589	3,584	4,730	地区会館使用料・福祉施設電話料等実費弁償金
一般財源	17,100	17,424	16,372	

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	武庫地区会館指定管理者管理運営事業費 3T2L	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市地区会館の設置及び管理に関する条例	事業区分	義務等
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和49年度	款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ	項	20 地区会館費
		目	05 地区会館費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	武庫地域振興センター
所属長名	檜垣 龍樹		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	武庫地区会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	地域住民や市民グループなどの活動、交流、ふれあいの場を提供する。
事業概要	武庫地区会館の管理運営
実施内容	<p>1 管理形態 23年度までは直営、24年度は指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月1日から指定管理者制度を導入</li> <li>指定期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)1期目</li> <li>指定管理者 三菱電機ライフサービス株式会社</li> </ul> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工年月日 昭和49年</li> <li>敷地面積 2,414.57㎡</li> <li>延床面積 1,475.21㎡</li> <li>構造等 鉄筋コンクリート3階建て</li> <li>開館時間 午前9時～午後9時 休館日 毎週水曜日、年末年始</li> <li>その他 医療機関小倉クリニックと併設</li> </ul> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸室施設の維持管理</li> <li>貸室業務(利用件数、利用率) 平成26年度 2,344件、28.2%</li> <li>指定管理者による自主事業(実施回数、利用者数) 平成26年度 54回、991人</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	22,910	23,565	23,700	
委託料	22,910	23,565	23,700	指定管理委託料
人件費 B	787	881	1,235	
職員人工数	0.13	0.19	0.25	
職員人件費	787	881	1,235	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	23,697	24,446	24,935	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	2,423	2,373	2,422	地区会館使用料・福祉施設電話料等実費弁償金
一般財源	21,274	22,073	22,513	

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	園田地区会館指定管理者管理運営事業費	3T32	事業分類	施設管理運営
根拠法令	尼崎市立地区会館の設置及び管理に関する条例		事業区分	義務等
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和51年度		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	20 地区会館費
			目	05 地区会館費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	園田地域振興センター
所属長名	新家 謙和		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	園田地区会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	地域住民や市民グループなどの活動、交流、ふれあいの場を提供する。
事業概要	園田地区会館の管理運営
実施内容	<p>1 実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月1日から指定管理者制度を導入</li> <li>指定期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)1期目</li> <li>指定管理者 尼崎中高年事業株式会社</li> </ul> <p>2 施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竣工年 昭和51年</li> <li>敷地面積 1,323.34㎡</li> <li>延床面積 1,364.73㎡</li> <li>構造等 鉄筋コンクリート造2階建て</li> <li>開館時間 午前9時～午後9時、休館日 毎週水曜日・年末年始</li> </ul> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸室施設の維持管理</li> <li>貸室業務(利用件数、利用率) 平成26年度:4,031件 48.47%</li> <li>指定管理者による自主事業(実施回数、利用者数) 平成26年度:34回 1,497人</li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	20,321	20,902	21,013	
委託料	20,321	20,902	21,013	指定管理委託料
人件費 B	636	621	631	
職員人工数	0.11	0.11	0.11	
職員人件費	636	621	631	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	20,957	21,523	21,644	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他	3,830	4,035	6,741	地区会館使用料・福祉施設電話料等実費弁償金
一般財源	17,127	17,488	14,903	

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	施設整備事業費	3T3A	事業分類	ハード事業
根拠法令	—		事業区分	義務等
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	—		款	15 民生費
施策	01 地域コミュニティ		項	20 地区会館費
			目	05 地区会館費

施策の展開方向	(01-2) 子育てや地域の見守り、健康づくり等をテーマとした地域活動等により、安全・安心な地域社会の形成を促進する。		
局	市民協働局	課	中央地域振興センター、小田地域振興センター、大庄地域振興センター、武庫地域振興センター
所属長名	田村 良二郎、高田 繁樹、西村 庄司、檜垣 龍樹		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場を提供する。
対象 (誰を・何を)	中央地区会館、小田地区会館、大庄地区会館、武庫地区会館
求める成果 (どのような状態にしたいか)	地域住民や市民グループなどの活動、文化、ふれあいの場を提供するために必要な施設環境を整備する。
事業概要	地区会館の補修・改修工事を行う。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央地区会館大ホール音響設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事内容 大ホール音響設備改修</li> <li>工事の時期 平成27年1月23日～3月31日 ・経費 5,498,721円</li> </ul> </li> <li>○中央地区会館屋上防水工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事内容 屋上防水工事</li> <li>工事の時期 平成27年1月30日～3月29日 ・経費 4,233,384円</li> </ul> </li> <li>○小田地区会館外壁補修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事内容 外壁補修工事</li> <li>工事の時期 平成27年3月18日～3月31日 ・経費 125,903円</li> </ul> </li> <li>○大庄地区会館2階ホールの舞台照明設備の改修 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事内容 ウィンチ及びワイヤー取替工事</li> <li>工事の時期 平成27年3月2日から3月31日 ・経費 573,372円</li> </ul> </li> <li>○武庫地区会館屋上等防水工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事内容 屋上防水工事</li> <li>工事の時期 平成26年10月6日から12月4日 ・経費 3,977,337円</li> </ul> </li> </ul>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	0	14,409	0	
需用費		141		
委託料		183		
工事請負費		14,085		
人件費 B	0	711	0	
職員人工数		0.09		
職員人件費		711		
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	0	15,120	0	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債		4,200		
その他		5,400		
一般財源	0	5,520	0	

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	車座集會事業費	IEIF	事業分類	ソフト事業
根拠法令	—		事業区分	裁量的
個別計画	—		会計	01 一般会計
事業開始年度	平成15年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-3) 市民の提案機会の拡大、広聴機能の充実やシテズンシップ教育など、市政参画をいっそう進めるしくみづくりに取り組む。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当
所属長名	安福 眞理子		

① 事業概要

事業実施趣旨	普段接することのない市長と直接対話をする事で市政に理解をいただくとともに、市民の声を聴く機会として実施している。													
対象 (誰を・何を)	尼崎市内に在住、在勤、在学している人													
求める成果 (どのような状態にしたいか)	多くの市民と対話を行うことで、情報の共有が図られるとともに、まちづくりに参加・参画する市民が増えている状態。													
事業概要	市民の市政への関心を高めるとともに、まちづくりに関する情報の共有化を推進するため、市民と市長が直接意見交換を行う。													
実施内容	◆実施内容…次の3つの方法で実施 ・「テーマ型」:あらかじめテーマを決めて参加者を募り実施 ・「ターゲット型」:学生や主婦、団体など参加者を決めて実施 ・「フリートーク型」:当日、参加者とともにテーマを決めて実施 ◆平成26年度の内容(参加者計121人) ・第16回 テーマ型「子ども・子育て支援新制度」 ・第17回 テーマ型「マナーについて考えよう」 ・第18回 ターゲット型「尼崎介護相談員の皆さま」 ・第19回 ターゲット型「尼崎市内の若者たち」 ・第20回 ターゲット型「市内の公民館利用者とともに」													
	◆過去の実施回数等 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>121</td> <td>115</td> <td>316</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H26	H25	H24	実施回数	5	5	5	参加人数	121	115
年度	H26	H25	H24											
実施回数	5	5	5											
参加人数	121	115	316											

② 事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	72	74	79	
報償費	0	3	3	
需用費	68	68	67	色上質紙等
使用料及び賃借料	4	3	9	
人件費 B	1,792	1,581	2,774	
職員人工数	0.22	0.20	0.35	
職員人件費	1,792	1,581	2,774	
嘱託等人件費	0	0	0	
合計 C (A+B)	1,864	1,655	2,853	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	1,864	1,655	2,853	

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	車座集會の参加者					単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—年度	24年度	316	25年度	113	26年度	121
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 平成23年度からテーマ型、ターゲット型など実施方法の工夫を行い、参加者数の増加を図った。しかし、参加者数よりも参加者層の充実が図れたことがよりよい成果であったと考えている。									

④ 必要性・有効性の点検

必要性・有効性	市長が市民と直接対話が行える事業であり、事業の進め方によっては幅広い年齢層との対話の実現が可能であるとともに、市民の市政への参加意欲を高める重要な機会である。市民の市政への関心を高め情報の共有化を図るとともに参加を推進するうえで、市民が市長と直接対話を行うことは、市役所をより身近に感じられる機会であるといえる。
---------	--

⑤ 受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市政への理解促進や広聴、またまちづくりへの参加促進を目的として実施するものであり、有料で実施すべきものではない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥ 他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	阪神間においても同様の事業を実施している。 例) 西宮市…「市長とまちづくり夢トーク」 芦屋市…「市民と市長「集会所トーク」 など
---------------	---

⑦ 担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市長が直接話し、また、市民の声を聴く場であることを考えると直営で実施すべきと考える。																								
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																									
協働の領域	<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状				●		将来像			○			各回のテーマや趣旨、参加者は異なることから、回によっては市民に運営面で協力いただくなど、市民が参画できることを柔軟に考えていく。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																									
	A	B	C	D	E																					
現状				●																						
将来像			○																							

⑧ 総合評価

総合評価	維持	必要性・有効性の欄に記載のとおり、市長と市民の対話できる重要な場として事業を継続する。 なお、実施方法については、より充実した場となるよう工夫が必要である。
------	----	---

⑨ 改善の方向性

今後の改善策	実施方法について、議論が一方通行にならないような工夫や、市民同士が意見交換ができる場面を持つなどの工夫が必要である。 より広い層の市民と意見交換ができるよう、土日や夜間に開催することや、テーマを工夫することも必要である。
--------	---

平成27年度 事務事業シート (平成26年度決算)

事務事業名	協働のまちづくりの基本方向推進事業費	1E1H	事業分類	ソフト事業
根拠法令	—		事業区分	裁量的
個別計画	「尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画(評価:有)」等		会計	01 一般会計
事業開始年度	平成20年度		款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ		項	05 総務管理費
			目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-3) 市民の提案機会の拡大、広聴機能の充実やシチズンシップ教育など、市政参画をいっそう進めるしくみづくりに取り組む。		
局	市民協働局	課	協働・男女参画課、市民活動推進担当、立花地域振興センター、武庫地域振興センター、園田地域振興センター
所属長名	奥平 裕久、安福 眞理子、南 敏彦、樽垣 龍樹、新家 謙和		

① 事業概要

事業実施趣旨	協働のまちづくりを推進するため、様々な段階での市民参加・参画の機会の充実を図る。
対象(誰を・何を)	市民、職員
求める成果(どのような状態にしたいか)	市民・事業者・行政が、課題や目標を共有しながら、それぞれが持つ特長を生かした役割を担い、補い合いながら、よりよいまちづくり、地域づくりに取り組んでいる状態。
事業概要	「協働のまちづくりの基本方向～きょうDOガイドライン～」(平成19年7月策定、平成26年3月改訂)に基づき、下記の事業を実施する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治基本条例策定に向けた取組</li> <li>○提案型事業委託制度</li> <li>○地域コミュニティ連携検討事業</li> <li>○提案型協働事業</li> <li>○あまサポネット(メールによるアンケートの充実)</li> <li>○市政サポーター制度の充実</li> <li>○市民活動ポータルサイト「市民活動の広場あまがさき」運営事業</li> <li>○地域における協働運営の仕組みづくり</li> <li>○ウェルカムパーティー事業(武庫、園田、立花)</li> </ul>

② 事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	4,106	4,022	5,114	
報償費	661	459	1,077	
需用費	235	311	350	
使用料及び賃借料	2,617	2,648	2,738	
負担金補助及び交付金	580	402	709	
その他	13	202	240	
人件費 B	31,463	32,053	32,085	
職員人工数	3.48	3.85	4.08	
職員人件費	28,348	30,190	32,085	
嘱託等人件費	3,115	1,863	0	
合計 C(A+B)	35,569	36,075	37,199	
C 国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
財源内訳	35,569	36,075	37,199	
一般財源				

③ 事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

評価指標	提案型協働事業の応募団体の数(平成21年度からの累計) (成果を検証するための実態の把握が困難なため活動指標を設定)						単位	事業			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	24年度	13	25年度	15	26年度	16
26年度の目標に対する達成状況	<input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 応募団体数が年々減少傾向にあることから、制度趣旨の周知等を図るとともに協働のまちづくりに関する市民・事業者・行政等の相互理解や地域課題等の共有を図っていく必要がある。										

④ 必要性・有効性の点検

必要性・有効性	近年、地域住民相互のつながりが希薄化している一方で、市民だけでは、あるいは行政だけでは解決することのできない地域課題は増加している。誰もが安全・安心に暮らすことのできる地域コミュニティを再生するため、また市民の活力、意識の高まりを生かし、多様化する市民ニーズ、地域課題に対応するため、協働のまちづくりを推進する必要がある。
---------	---

⑤ 受益と負担の適正化の点検

現状の受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	協働のまちづくりを進めるために行うものであり、受益者負担の考え方は馴染まない。
見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑥ 他自治体比較

他自治体及び国との基準比較	阪神間各市を含む県下でも、参画と協働に関する計画等は策定されている。本市の施策(協働のまちづくりの基本方向)の考え方や取組方策など、県及び各市と比較しても同水準と考える。
---------------	---

⑦ 担い手の点検

現状の委託等	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無	市民や事業者、市民活動団体などとともに協働のまちづくりを進めていく上で、「場」づくりや各種制度設計など、基本的に「行政ができること」を中心に事業化しており、現時点では委託化できる余地は少ないと考える。																									
委託等の可能性	<input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無																										
協働の領域	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ⇄ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		市民の領域 ⇄ 行政の領域						A	B	C	D	E	現状			●			将来像			○			内容	市民・事業者・行政等が対等の立場で、相互理解を深め、地域課題等の共有しながら、各事業に取組み、協働のまちづくりを推進する。
	市民の領域 ⇄ 行政の領域																										
	A	B	C	D	E																						
現状			●																								
将来像			○																								

⑧ 総合評価

総合評価	<p><b>拡充</b></p> 社会情勢の変化、生活様式や価値観が多様化する中で、一人ひとりの力を活かした市民・事業者等の参画によるまちづくりを進めていく必要がある。本市における住民自治のルールとなる「自治基本条例」の制定に向け取り組むなど、協働の意義とその効果についての意識醸成を図っていく。
------	--

⑨ 改善の方向性

今後の改善策	条例制定に向けては、広く市民をはじめ、地域団体や庁内向けに、丁寧な説明と、意識醸成を図っていくことや、併せて、地域コミュニティやシチズンシップの意義などについて身近な問題と捉えてもらえるような取組が必要である。また、より市民参画を進められる仕組みづくりに取り組むため、既存の各制度の実施方法の点検を行っていく。 (なお、「協働のまちづくりの基本方向推進事業費」は、平成27年度予算より、その趣旨をより明確化した3中事業「尼崎らしいまちづくりのルール検討事業費」「市政参画推進事業費」「ウェルカムパーティー事業費」に分け、取組を進めている)
--------	--

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	(仮称)まち大学あまがさき検討事業費 1E11	事業分類	ソフト事業
根拠法令	—	事業区分	義務等
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	平成26年度	款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ	項	05 総務管理費
		目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-3) 市民の提案機会の拡大、広聴機能の充実やシチズンシップ教育など、市政参画をいっそう進めるしくみづくりに取り組む。		
局	市民協働局	課	協働・男女参画課
所属長名	奥平 裕久		

①事業概要

事業実施趣旨	市民の主体的な学習や実践を支援し、「学び」を通じて地域を支える人材が育成される環境の創造を目指す。
対象(誰を・何を)	地域活動、ボランティア活動、公民館活動、その他社会的な活動に興味のある市民
求める成果(どのような状態にしたいか)	講座等の受講が目的とならず、行動につながる学びが提供される環境をつくり、自ら社会課題に気づき、解決する市民が増えていくこと
事業概要	市民の主体的な学習や実践を支援し、「学び」を通じて地域を支える人材が育成される環境をつくっていくため、市内で実施されている講座等の体系的な把握、整理を行い、市民にわかりやすく情報提供を行う方法等について検討を行う。
実施内容	<p>○庁内検討プロジェクトチームを設置し、「学習する地域の創造に向けた基本的な考え方(案)」を策定</p> <p>○「みんなの尼崎大学」のフレームの検討</p> <p>庁内外の学びの場(講座等)の把握、整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内講座調査(28課、488講座の回答)</li> <li>・庁内講座担当者グループインタビュー(27課、55名の参加)</li> <li>・民間講座提供者ヒアリング(13団体)</li> </ul> <p>調査及びヒアリングをもとにした「みんなの尼崎大学」のフレームの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座提供側の連携の場づくり</li> <li>・民間との連携による学びへの参加インセンティブ</li> <li>・情報発信の工夫(分かりやすい講座の見せ方(ジャンル整理、学部・コース等))</li> </ul> <p>○行政提案型協働事業制度を活用した「みんなのサマーセミナー」の開催に向けた準備(協働の相手方であるみんなのサマーセミナー実行委員会との連絡調整等)</p> <p>○未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す尼崎研究会「学習する地域・コミュニティの構築を目指す」の開催(平成27年2月21日(土)、22日(日) 於:園田学園女子大学)</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	0	1,998	2,800	
委託料	0	1,998	2,800	検討事業委託料
人件費 B	0	4,190	5,548	
職員人工数		0.53	0.70	
職員人件費	0	4,190	5,548	
嘱託等人件費	0	0	0	
合計 C(A+B)	0	6,188	8,348	
Cの財源内訳			2,450	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	0	6,188	5,898	

平成27年度 事務事業シート（平成26年度決算）

事務事業名	コミュニティ連絡板維持管理事業費 1E1L	事業分類	施設管理運営
根拠法令	—	事業区分	義務等
個別計画	—	会計	01 一般会計
事業開始年度	昭和60年度	款	10 総務費
施策	01 地域コミュニティ	項	05 総務管理費
		目	61 市民活動推進費

施策の展開方向	(01-3) 市民の提案機会の拡大、広聴機能の充実やシチズンシップ教育など、市政参画をいっそう進めるしくみづくりに取り組む。		
局	市民協働局	課	市民活動推進担当、中央地域振興センター
所属長名	安福 真理子、田村 良二郎		

①事業概要

事業実施趣旨	市政情報の周知を図るため、各地域住民の生活圏において目にすることができるコミュニティ連絡板を整備することが必要である。
対象(誰を・何を)	コミュニティ連絡板利用者・市民
求める成果(どのような状態にしたいか)	駅や公共施設などの協力を求め、市民の利用者が多い場所にもコミュニティ連絡板を設置し、積極的に市政情報を発信する。
事業概要	市の広報板としての役割と地域情報の発信手段としての役割を目的としているコミュニティ連絡板を維持管理する。
実施内容	<p>【設置数】中央地区内99基、小田地区内99基、大庄地区内104基、立花地区内106基、武庫地区内93基、園田地区内81基、合計582基(平成27年3月31日現在)</p> <p>【設置基準】原則:1単位福祉協会1基</p> <p>【利用方法】掲示業務は協働推進員に委嘱しており、未使用スペースは地元情報の掲示に利用。 ※協働推進員とは・・・ 地域住民の方々へ市政広報の徹底を行うことにより、市政に対する市と市民の情報の共有化を図るとともに、日常の活動を通じて、地域のコミュニティ活動を推進し、本市の協働のまちづくりに資することを目的とし、市が10日と25日に発送する広報物(ポスター、チラシ等)の掲示や地域での回覧を行うボランティアとして委嘱。(平成27年3月31日現在658名)</p> <p>【維持管理】提案型事業委託制度採択事業として、平成26年度より公益財団法人尼崎環境財団が維持管理を行っている。</p>

②事業費

	25年度決算	26年度決算	(参考)27年度予算	備考
事業費 A	810	5,390	5,438	
需用費	519	0	0	庁舎維持補修費
工事請負費	291	302	350	工事費
委託料	0	5,088	5,088	委託料
人件費 B	5,374	2,197	2,030	
職員人工数	0.78	0.33	0.37	
職員人件費	5,281	2,197	2,030	
嘱託等人件費	93			
合計 C(A+B)	6,184	7,587	7,468	
Cの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源	6,184	7,587	7,468	